

Phocuswright Conference 2024

旅行全般のプレイヤーが一堂に集まるPhocuswright Conferenceに参加してきました。目的は新たな旅行の姿の模索とホテルとの関係探しです。

Topics1

「寄り道」「聖地巡礼」がキーワード

Expediaの報告によると、各国の主要都市観光の前後に「寄り道」的な地方都市訪問とアニメなどに取り上げられた「聖地巡礼」が全観光客の60%を占めるほどになってきているとのこと。日本の「寄り道」は福岡だとのこと。

Topics2

旅行代理店システムはAI全盛

旅行代理店の中でも、特にBtoBの領域でのプレイヤーが、その予約プロセスの中にAIを組み込んできています。いわば相談機能のAI化ということで、GDS端末操作もAIにより自動化が進んでいるようです。

Topics3

Uber Platformのサイトへの組み込み

ホテルのホームページなどに、Uberの配車予約や食事のデリバリーなどが組み込まれ始めています。そこにUberの今後のビジネスがあるのですが、ホテル、旅行代理店側も意識せずに使っているようです。Uberエコミーの広がりは恐ろしいです。

Topics4

AIの導入の仕方

AIのプロダクトを導入すればAI化が完成することではなく、自社独自のビジネスロジックの組み上げ、それに沿ったデータ収集と投入、ビジネスロジックの徹底的なテストが必要です。ですので一朝一夕では出来るわけがなく、ここを経営陣がよく理解する必要があります。

<CLOUDIT EYE>

今回の大きなテーマとして「Gen-Z」への対応というセッションが数多くありました。彼らの旅行パターンとして、例えば「All-Inclusive」（食事とホテル内アクティビティの込商品）が最も売れ行きの良いものようです。それに加え、ホテル周辺の「Experience」の購入という仕組みが必要だとのこと。こういった商品造成について旅行代理店のみならず、ホテル自身も行って行けるプラットフォームができています。またこれは、スキなどのリゾートホテルだけではなく都市部のホテルでも同じように「Gen-Z」向けの付加的体験を含んだ商品造成を行っているようです。



アリゾナのフェニックスへは数知れず来ていました。今回の会場は新しく開発されたエリアにあるリゾートホテルでした。開催の週末がThanks GivingそこからX'masに入っていくので、ホテルもその飾り付けで忙しいようでした。しかしフェニックスの中心地から車で40分程度かかる閉鎖的なリゾートエリアですので、不便なことは不便でした。

Uberや自動運転車両の利用が良いのか、レンタカーを借りた方が良いのか悩むエリアです。またそういった車の70%以上がカーシェア車でした。今回トランプ政権になって悩ましいところが、その炭素エネルギーからのシフトだろうと街で感じられました。

フェニックスはほとんど雨が降らない砂漠の中にあります。サハラがあちこちにあり、砂漠ウサギが飛び跳ねています。気をつけないとガラガラ蛇に遭遇するようです。それとパーティーや食事会場が屋外です。気持ち良いのですが、宴会場いらずだなと感じました。（暑いですが）

<旅行トレンド>

Taylor Swift Era Tour Economyは昨年来全米で\$5Bの経済効果があったそうです。LCCで飛び、ホテルで宿泊をしてコンサートへ行くというパターンの個人旅行の効果ということになります。日本のコンサートへも台湾、フィリピンからLCCで来日し、ホテルにコンサートの前後4泊ぐらい泊まるというパターンだったようです。

今北米では次のTaylor Swiftは誰になるのか、またどういう形態になるのかについて期待が高まっています。それに伴い、各地のオプション予約をシステム間連携で可能にするTravel HUB的な構想についても広がりを見せています。

世界的な動きもありますが、国内的にもつい先日札幌であったように、宿泊施設が足りなくなり、価格も高騰したようですが、その滞在日数を伸ばすための他施設との協力体制が必要なのではと感じました。

<予約へのAI組み込み>

今まで、いろいろなベンダーから聞こえてきたのが、コンテンツ分野での生成AIの組み込みということでした。しかし今回、旅行代理店各社が打ち出してきた「予約プロセスへのAI利用」という考え方です。ある商品提供のロジックを予約条件などから決めるということが基本になるのですが、予約条件の中にはレベニューマネジメント的な予約時期に関するマーケットセグメント別の動きをシミュレーションしながら出しているということなのです。

またそこに決済手段に関する条件も加えることにより、旅行代理店的には決済スピードを高めるようなことも考えているようです。

この分野は継続してウォッチしておかないと、ホテル直販用のブッキングエンジンの機能にも影響を与えそうです。

<注目の会社>



同社はAIを使った予約支援ソリューションをCollaborative AIを使って作っている企業です。今回の会議で投資家、参加者から最も指示を集めたテクノロジーを持った会社です。

やはりBtoB領域でいかにユニークな検索をしてくれるのかというテーマが、差別化のためにも必要であり、こういったAI領域の利用が進んでいるようです。

<次回予告>

今年はこれで打ち止めです。来年の1月末のHEDNA Conferenceから情報収集を開始します。

本NEWSはバックナンバー含めて弊社ウェブサイト (cloudit.jp) でも公開しております。

2024年12月9日

CLOUD IT, Inc. 2024

<お問い合わせ>

クラウドイット株式会社 info@cloudit.jp 電話: 03-6416-3270